

## 第2回観光審議会で受領した意見への対応方針

第2次那覇市観光基本計画策定支援業務委託

有限責任監査法人トーマツ

2024年12月20日

# 第2回観光審議会での指摘事項

## **第2回観光審議会（現地会場）での指摘事項**

---

## 第2回観光審議会（8/9）で受領した意見・質問に対して、以下の通り対応いたしました 指摘事項（1/4）

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	対応状況
1	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門用語や本計画独自で用いている意味合いを持つ用語等は計画巻末に用語集を作成する等して、補足していく必要があると考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 卷末で用語集を作成する</li> </ul>	越智委員	完了
2	第1章	<ul style="list-style-type: none"> <li>LRTについて令和22年の予定ではあるが、一定程度議論が進んでいるため、何かしらの記載は計画内に落とし込む必要があるのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ゲートウェイ2050と同様に今後LRTを進めていくことも背景として計画を作成していることが読み取れるよう計画改定の経緯で記載する</li> </ul>	與座委員	完了
3	第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>PEST分析の経済的要因の一つである「IR開業に伴うMICE分野における国際競争力の向上」はIRに限定しないほうがよく、国の全体的な取組や世界的な国際会議の開催件数の増加等を総合的に判断し、日本のMICE分野における国際競争力が高まっているという見方に対することがよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「MICE誘致支援の強化及びIR等の受入に向けた多様なコンテンツ開発に伴う、MICE分野の国際競争力の向上」と更新する</li> </ul>	徳田委員	完了
4	第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>PEST分析の社会的要因における「観光産業を支える人材不足」の原因が人口減少・少子高齢化に限定されているが、他の要因もあると考える。実情は異なるため、現行の記載内容は最低限であることを示す必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光業界（特に宿泊業）の働き方等にも触れる形式とし、「他産業との賃金格差や労働環境」という内容を人口減少・少子高齢化以外の要因として追加する</li> </ul>	越智委員	完了
5	第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>PEST分析の技術的要因にメタバースの記載を追加してほしい。メタバースは那覇市観光の事前学習や那覇市での滞在を検討していない層に対するPRに役立つと考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メタバースに係る情報を収集し、技術的要因の要素として「デジタル技術活用などマーケティング手法の多様化」に追加する</li> </ul>	渡邊委員	完了
6	第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>那覇市の観光を取り巻く現状における観光客に対するアンケート結果について、沖縄の魅力ではなく、那覇市の魅力を抽出することができていない場合は、「那覇ならでは」というキーワードを用いて基本施策や取組概要を記載していく際の根拠となるデータとして本調査を用いることに留意が必要と考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 基本施策や取組概要における当該データの活用は特段留意して見直す</li> </ul>	越智委員	完了

## 第2回観光審議会（8/9）で受領した意見・質問に対して、以下の通り対応いたしました 指摘事項（2/4）

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	対応状況
7	第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>「那覇ならでは」という観点は本計画の推進段階でより那覇市内で明確化していく活動が必要ではないか。現時点では、沖縄県と那覇市の魅力は区別がついていないが、那覇市の優位性を見出し、那覇市の魅力や特色を抽出していく取組も計画内に組み込むことができるとよいと考える</li> </ul>	<p>▶ 取組の柱や基本施策の説明の中で<u>様々な取組概要を踏まえて、「那覇ならでは」の魅力を創出する旨を追記する</u></p>	越智委員	完了
8	第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>那覇市の観光を取り巻く現状における市民に対するアンケート結果は過年度の結果と比較検討ができると市民による観光振興への理解を深めることができるのでないか</li> </ul>	<p>▶ 那覇市で実施している<u>市民意識調査の項目【2018年度（コロナ前）】の調査結果と比較する</u></p>	親川委員	完了
9	第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>那覇市の観光を取り巻く現状におけるアンケートの結果に関して、それぞれの調査における有効回答数を記載してほしい</li> <li>また、経済波及効果については記載内容が分かりづらいため読み手に配慮して更新してほしい</li> </ul>	<p>▶ アンケートの調査概要において、<u>有効回答数（n数）を記載する</u></p> <p>▶ 経済波及効果は市内総生産に占める割合を主に伝える内容とし、ページ構成も併せて比嘉会長と調整する</p>	與座委員	完了
10	第3章 (KGI/KPI)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステークホルダーごとにKGIを設定する場合は、ステークホルダーがKGIの達成をもって、どのような姿を目指すかについても記載する必要があるのでないか</li> <li>第5次総合計画や沖縄県の観光振興計画から要素を抽出し、ステークホルダーのあるべき姿を記載できるとよい</li> </ul>	<p>▶ 第5次総合計画や沖縄県の観光振興計画等を踏まえて入<u>ステークホルダーごとにKGIを達成した時のあるべき姿を記載する</u></p>	越智委員	完了
11	第3章 (KGI/KPI)	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の柱1の基本施策(I)のKPIについて、那覇市の快適性や外国人等への情報発信等を考慮すると現状の満足度が95%ということが非常に高い印象を持つ。</li> <li>現状の指標では観光に対する知見を持たない市民が見た際に那覇市の観光振興は十分と捉えられてしまう可能性がある。また、目標値は観光振興に取り組むことでさらに発展させるメッセージ性を表現する必要がある</li> </ul>	<p>▶ 「<u>バリアフリー等、受入環境整備に関する総合満足度</u>」等の<u>基本施策(I)に即したKPIを新規に設定する</u> (現状値がなく目標値を設定できないことは問題ないと理解)</p>	親川委員	完了
12	第3章 (KGI/KPI)	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の柱1の基本施策(I)のKPIはユニバーサルな受入環境整備に関する満足度を指標とすることが望ましい。</li> <li>観光振興全般に係る総合満足度と受入環境に係る総合満足度の2つをKPIとすることも考えられるが、課題を浮き彫りにする点で、協議を進めてほしい。</li> </ul>	<p>▶</p>	越智委員	完了

## 第2回観光審議会（8/9）で受領した意見・質問に対して、以下の通り対応いたしました 指摘事項（3/4）

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	対応状況
13	第3章 (KGI/KPI)	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の柱4の基本施策(ア)のKPIについて、おそらく一般の方はJSTS-Dという言葉を知らない可能性があり、用語集で補足してほしい。また、どのような取組を指しているのかイメージができないため、表現を見直せるとよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>略語や専門用語は用語集として巻末で補足する</li> <li>KPI指標の項目は現状のままとするが、取組例を入れる等の対応を検討する</li> </ul>	與座委員	完了
14	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の柱1の基本施策(ウ)について、MICEの開催誘致ではなく、誘致・開催の方が適しているのではないか</li> <li>MICEは誘致した後に開催する流れであるとともに誘致に限らず、地域発信による開催も非常に重要であり、記載順を入れ替えた方が理解しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>那覇市都市型MICE振興戦略のP.17では「開催誘致」と記載されているが、ご指摘を踏まえて、「<u>誘致・開催</u>」に更新する</li> </ul>	徳田委員	完了
15	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>「那覇ならでは」の新規に発掘・創造されるものは必ずしも歴史資源に基づくだけではなく、様々な現代文化やアート等によって作られるのではないか。確かにクリエイティブ産業との連携等も記載されているが、歴史文化にまとめてしまうと意図とズレてしまうと考える</li> <li>本計画素案には歴史文化が全般的に記載されていると考えており、表現に留意してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史文化については、「<u>歴史・文化</u>」と切り分けて記載する意思はあります、平仄が合っていない箇所が散見されるため、改めて丁寧に確認する</li> </ul>	越智委員	完了
16	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の柱3の基本施策(イ)における「観光事業者向けのオープンデータの整備・公開、データの活用の促進」について、リアルタイムのフライト予約数などが事例として記載されているが、どの程度のリアルタイムを想定しているか確認したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該記載は昨年度の事業者ヒアリングであがった意見を踏まえて記載した箇所となっているが、「<u>リアルタイム</u>」といった文言は削除する</li> </ul>	上原委員	完了
17	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の柱3の基本施策(ウ)における「域内調達率の向上促進」について、地域主導による活動の支援を那覇市が実施すると理解しており、現状の記載では意図とズれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記載内容を改めて確認し、<u>適切な表現</u>に更新する</li> </ul>	越智委員	完了
18	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の柱4の基本施策(イ)について、観光庁やJNTOに限定する場合は国際機関ではなく、政府機関等が望ましい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘を踏まえて、「<u>観光庁やJNTO等の国の機関</u>」と更新する</li> </ul>	徳田委員	完了

## 第2回観光審議会（8/9）で受領した意見・質問に対して、以下の通り対応いたしました 指摘事項（4/4）

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	対応状況
19	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>首里城跡が令和8年に再建されるが、特段言及されていないことが気になっている</li> <li>既に沖縄県と連携して取組を進めてきている認識であり、記載できる内容はあるのではないか</li> </ul>	<p>▶ • 第2章の「那覇市の観光概観」や「取組の柱2の基本施策(ウ)」の取組概要で首里城跡の取組について記載する</p>	越智委員	完了
20	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光目的税は沖縄県における検討が本格化しており、沖縄県が観光目的税を導入した際には事業者が様々な対応を求められると考えている。直近の大きな変化になる事案と考えており、計画内でも記載できると望ましい</li> </ul>	<p>▶ • 取組の柱4の基本施策(ア)において、<u>観光目的税の導入・あり方検討を進める旨を取組概要として新設する</u></p>	越智委員	完了
21	第5章	<ul style="list-style-type: none"> <li>「推進体制における基本役割やアクション例」と「KGIにおけるステークホルダーごとのあるべき姿」は一定程度整合性を取れるとよい</li> </ul>	<p>▶ • ステークホルダーごとにKGIを達成した時のあるべき姿を適切に記載することを優先事項とし、その後に基本役割やアクション例との整合を確認する</p>	越智委員	完了
22	第5章	<ul style="list-style-type: none"> <li>那覇市観光協会はDMOとして様々な役割及びアクション例が記載されているが、本計画を推進するにあたり、実際に那覇市観光協会の人員体制や安定財源の確保に向けた取組の検討状況を教えてほしい</li> </ul>	<p>▶ • 計画に役割や取組を明示することで事業を予算化しやすいといった背景は多少あると考えている。那覇市観光協会からは事前に「舵取り役」といった推進体制の中心的な役割を担う部分に係る文言修正の依頼を受けているため、今後調整を図っていく (詳細はP.8の名嘉元委員からの指摘事項を参照)</p>	徳田委員	対応不要

## **第2回観光審議会（意見シート）での指摘事項**

---

# 第2回観光審議会（8/9）における意見シートで受領した意見・質問に対して、以下の通り対応いたしました

## 名嘉元委員の指摘事項

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	対応状況
1	第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興が市内生産額に占める割合について、OCVB や沖縄県から観光収入額や目標値、沖縄県GDP等と比較すると那覇市の14.7%は小さい印象を持つ</li> <li>推計値の採用における注釈（値の根拠など）等の記載があるとよい</li> </ul>	<p>▶ 算定した値が推計値であることは注釈や本文中でも記載し、確定値という誤解を与えないようする</p>	名嘉元委員	完了
2	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組概要における実施主体について、「国・県・OCVB」や「市民」、ホテル組合・飲食業組合などの「観光振興関連団体」（観光業に関わる公益的事業を担っている団体等）も示す必要があるのではないか</li> </ul>	<p>▶ 「実施主体」は、あくまで取組の中心を担う団体を記載しており、本計画が市の計画であることから「国・県・OCVB」が主体になることなく、また、「市民」も同様に主体になることがないため、「実施主体」は変更しない</p>	名嘉元委員	対応不要
3	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の柱4の基本施策(ア)について、「体制強化」「機能強化」が主たる要素であり、誰が何をどのように「強化」していくのかが不明瞭である</li> <li>「市は、観光地域づくりを担うDMOの役割の明確化と機能強化に向けた支援を推進します。」等に留めるべきであり、未だ「舵取り役」を担うこともできない状態にある当法人を「舵取り役である」と断定する表現を計画に盛り込むことには同意できない</li> </ul>	<p>▶ 指摘事項を踏まえて、<u>市が「那覇市観光協会の役割の明確化や地域の観光関連事業者との連携強化に向けた支援を推進する」等の連携体制の強化に係る支援を行う旨整理する</u></p> <p>▶ 指摘事項を踏まえて、<u>「舵取り役」の文言を基本施策の説明文および2◆目から削除し、「DMOとしての役割を果たす」等の抽象的な表現に修正する</u></p>	名嘉元委員	完了
4	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の柱4の基本施策(ア)について、「財源を確保しながら実施」する主体が不明瞭である。「安定した観光地経営がなされるよう財源を確保します。」等の記載が望ましい</li> </ul>	<p>▶ 指摘事項を踏まえて、<u>「安定した観光地経営がなされるよう、財源を確保し、支援していきます。」と記載を修正する</u></p>	名嘉元委員	完了
5	第5章	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進体制に記載されている6つのステークホルダーについては、文章内でもそれぞれの基本役割を示すべきと考える</li> <li>それぞれのステークホルダーの役割が文章としても明示されないのであれば、観光協会に係る記載は削除としてほしい</li> </ul>	<p>▶ 全てのステークホルダーに係る「基本役割」が明記されていることから、本文内の観光協会に係る記載を削除する</p>	名嘉元委員	完了

# 第2回観光審議会（8/9）における意見シートで受領した意見・質問に対して、以下の通り対応いたしました

## 上原委員の指摘事項

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	追加対応の要否
1	第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>p 26 取組展開⑤今後の方針性「情報発信にあたっては～デジタル技術の利活用の促進」を図るとされているが、デジタル技術の促進を図る主体は市か、観光事業者か。主体が市であれば、「利活用の推進」ではないか。</li> <li>p 26 取組展開⑥今後の方針性「来訪後の」ではなく、「来訪時」の満足度向上ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組展開⑤今後の方針性「情報発信にあたっては～デジタル技術の利活用の促進」における主体は市であるため、「利活用の推進」で更新する</li> <li>取組展開⑥今後の方針性は「来訪後」ではなく、「来訪時」として更新する</li> </ul>	▶ 上原委員	完了
2	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>「観光事業者のデジタル人材育成やデジタル技術導入の支援」について、現在の書きぶりだと、周知に加え、市として生産性向上に向けた取り組みを行うように理解できるが、その認識で相違はないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な施策は現時点では実施されていないが、本記載をしておくことで次年度以降の予算要求及び事業化に繋げていきたいと考えており、施策が実施できれば市としても取組を進めていきたい</li> </ul>	▶ 上原委員	対応不要

# 第2回観光審議会（8/9）における意見シートで受領した意見・質問に対して、以下の通り対応いたしました

## 山田委員の指摘事項

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	追加対応の要否
1	第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>修正点①：図表Vの2019（令和元年度）の棒グラフが700万人程度になっている。→実際には946万人</li> <li>修正点②：【2段落目、2行目】2023年度には、台湾、韓国、中国本土、香港、アメリカ…→実際には台湾、韓国、香港、中国本土、アメリカ</li> <li>修正点③：図表VI2023年度の円グラフの数値間違い 台湾36.1、韓国14.0、中国本土11.4、香港9.3、アメリカ5.4→ 実際には、台湾41.8、韓国22.3、香港11.8、中国本土6.3、アメリカ2.9</li> </ul>	<p>▶ • 受領したデータを再確認し、各グラフを更新する</p>	山田委員	完了
2	第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5観光収入は8/22公表予定なので、那覇市の資料公表がそれ以降となるのであれば、R5の数値が使用可能である</li> <li>2023年度観光収入：8,507億円（対前年比21.3%増）過去最高の観光収入額である</li> </ul>	<p>▶ • 公開予定は8/22以降となるため、沖縄県の動向はR5年の数値を記載した形とする</p>	山田委員	完了